

「常磐線 富岡～浪江間の運転再開に向けての準備について」 の提案（乗務員の教育・訓練の実施）を受ける！ 7/17

地本は、7月17日（水）に水戸支社から「常磐線 富岡～浪江間の運転再開に向けての準備について」の提案（乗務員の教育・訓練の実施について）を受けました。

主な提案内容

○運転再開日については、2019年度末の運転再開を見込んでいるが、具体的な運転再開日については、決定次第知らせる。

○列車設定の考え方

- ・普通列車及び東京都区内と仙台市内を直通で結ぶ特急列車の運転を開始する。
- ・具体的な運行計画については、決定次第知らせる。

○乗務区間の見直し

- ・いわき～仙台間における「いわき運輸区」と「原ノ町運輸区」の乗務区間を見直す。

箇所	区間
いわき運輸区	いわき～富岡間
原ノ町運輸区	いわき～仙台間 (運転士は仙台車両センター構内含む)

※いわき運輸区はいわき～原ノ町間の一部臨時列車を担当する。

※常磐線全線開通及び乗務区間の変更に伴い、震災前の原ノ町運輸区の業務量に比べ、増加が見込まれるが、要員体制については別途知らせる。

○スケジュール

- ・必要な教育及び訓練を実施する。(今回は原ノ町運輸区対象)

①運転士

机上訓練・車両教育、富岡～浪江間線見教育（ハンドル訓練：50km程度、5往復）

◇9月上旬以降から実施

②車掌

机上訓練・車両教育、富岡～浪江間設備確認、新着席サービス教育

◇9月上旬以降から実施

※訓練スケジュールは変更となる場合がある。

※いわき運輸区はいわき～原ノ町間の臨時列車の訓練については別途実施

○その他

- ・設備確認のため、試運転の実施
- ・夜ノ森～浪江間については、特殊自動閉そく方式

職場から問題点、疑問点などを出し合い議論を深め、解明要求へ高めていこう！